

デジタル人材育成への取り組みについて

2023年3月14日(火)

北海道経済連合会

北海道経済連合会～会員対象のデジタル人材育成研修プログラム

- ・北海道経済連合会では、企業の持続的な成長のためにはDXに取り組み、現場の効率化や省力化等の業務改善を進めて労働生産性を高めていくことが必要であると考え、自社の業務課題をデジタル技術で改善するデジタル(DX)人材の育成支援に取り組んでいます。
- ・本日は、当会会員を対象とした、2階層(中堅社員、若手社員)の研修プログラムについて紹介いたします。

中堅社員向けDX研修会

2022年度研修風景

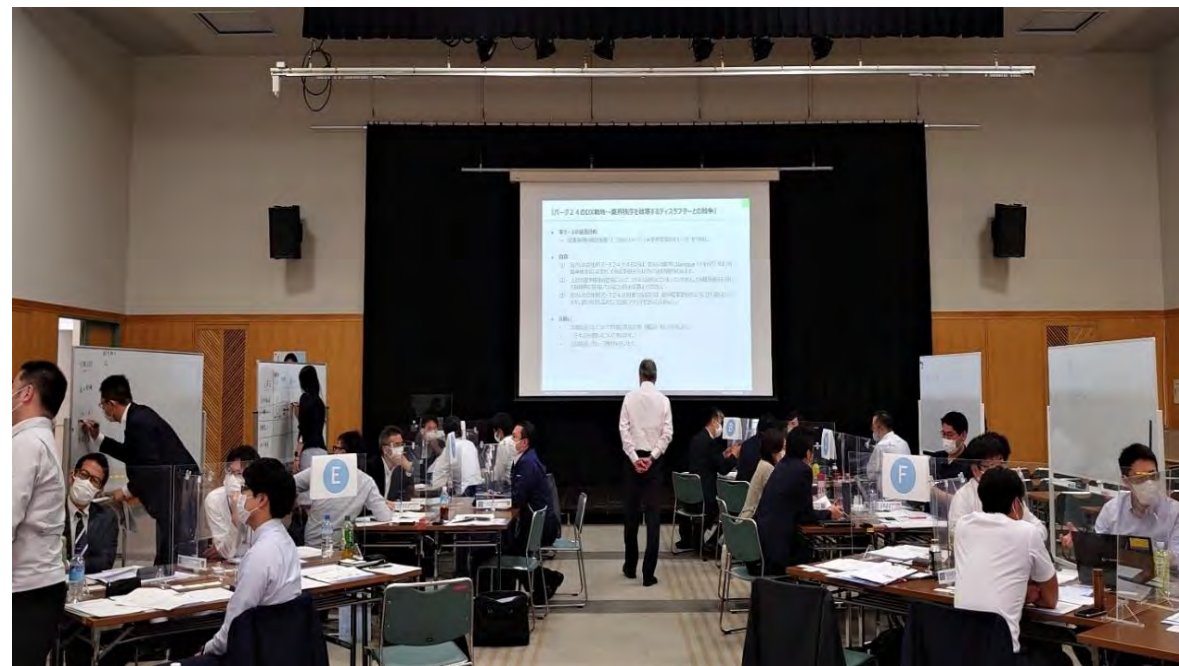
対象：中堅社員

目的：デジタル技術等を活用し業務改革をできる
リーダー人材の育成を目指す

研修コンセプト：

- ・DX推進にあたっては、ビジネス上の課題を考えることが重要であり、DXに必要な本質的思考を共有・共感させるための取り組みが重要

参加者：2022年度25名 (2021年度21名)



若手社員向けDX人材育成プログラム 「2022 DoX PROJECT」

対象：若手社員（25歳～30歳）向けの全9回の「研修プログラム」

目的：デジタル技術等を活用し新たな価値創造に取り組める人材の育成（発想力や変革力を習得）

主な内容：

- ・ 北海道の将来（課題と期待）
- ・ DXやDX推進とは何かを学ぶ
- ・ イノベーションの起こし方
- ・ アイデアを考える方法を知る、具現化
- ・ データやデジタルの活用
- ・ 最終回は、上司を前にした成果発表会

ファシリテータ：北海道博報堂 新どさんこ研究所
所長 山岸浩之 様

参加者：12名（内女性6名）

（2020年度13名、2021年度21名）

2022.7.29（金） 北海道新聞

異業種間交流で
若手発想力磨く

道経連など講座

道経連と北海道博報堂、北洋銀行は28日、デジタル技術を活用し自由な発想で社会課題を解決できる人材の育成を目指す講座「ディオーエックスプロジェクト」を開講した。道経連会員企業の25～30歳の社員が対象で、講義を通じて異業種間交流を深め、発想力を磨く。

3年目となる本年度は、医薬品卸、食品製造、金融など12社から各1人が参加。28日に札幌市内で開かれた初回の講義では、北海道博報堂新どさんこ研究所の山岸浩之所長が「社会課

題を解決したい思いは、未来への期待でもある。月1回の講義ではグループで議論を深め、未来を考える時間にしてほしい」と呼びかけた。参加している自動車部品製造ダイナックス（千歳）の横山麻衣さんは「他業種の参加者と交流し人脈を広げたい」と意気込む。

来年3月まで9回の講義で各回ごとにメンバーを入れ替えてグループワークを行い、デジタルトランスフォーメーション（DX）の事例を学ぶ。最終回では「北海道の社会課題を自社のリソースで解決する」をテーマに個人発表を行う。

（三島七海）